

USB接続デュアルVGA Cat5対応KVM コンソールエクステンダ - 200 m

SV565DUTPU



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

最新の情報は www.startech.com でご確認ください

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに	1
製品の特長.....	1
動作環境.....	1
パッケージの内容.....	2
KVMエクステンダを接続する	3
設置場所の準備をする	3
インストール手順	4
ローカル機のインストール.....	4
リモート機のインストール.....	4
プッシュボタン制御とLED	6
リモート機のプッシュボタン	6
ローカル機のプッシュボタン.....	6
ビデオ補正	7
ホットキーコマンド.....	8
カスケードアーキテクチャ.....	8
マスクホットキースイッチ	8
リモート機とローカル機両方のホットキーコマンド.....	10
ローカル機のホットキーコマンド.....	12
リモート機のホットキーコマンド.....	13
ビーブコード	14
技術仕様	15
RJ-45コネクタピン配列	16
トラブルシューティング	17
技術サポート	19
保証に関する情報.....	19

はじめに

本SV565DUTPU USBデュアルVGA KVMコンソールエクステンダ (CAT5 UTP) は最大 200 m離れたデュアルVGA PCまたはKVMスイッチをまるでローカルに設置したかのように1920x1200の高解像度で操作できます。本製品にはPC接続ケーブルが同梱され、ソリューションをすぐに使用できます。

デュアルVGA Cat5 KVMエクステンダは、使いやすいホットキーとプッシュボタンコマンドに対応しローカルに接続したシステムとリモートサーバまたはKVMを切り替えることができます。また事実上接続したすべての標準USBキーボードとマウス(無線セットを含む)が使用できます。ホットキーコマンドはさまざまな距離で画質を最適化するビデオ調整コントロールも提供します。標準のCat5 (またはそれ以上) ケーブル2本で延長し、既存のインフラ配線を使用してサーバまたはKVMスイッチへのリモートアクセスが可能です。

StarTech.comでは3年間保証と永久無料技術サポートを提供しています。

製品の特長

- 単一のコンピュータと併用したり、既存のデュアルVGA KVMスイッチに接続が可能
- 業界標準のUTPネットワークケーブル2本を使用した簡単な設置
- 直観的に使えるホットキーコマンド
- ローカルとリモートユーザまたは専用コントロール間での自動切替に対応
- ローカルとリモートでUSBコンピュータに対応 (リモートコンソール用にUSBキーボードとマウスが必要です)
- イコライザ (鮮明度)、ゲイン (輝度) およびRGBスキューを含むビデオ品質を独立して調整可能。

動作環境

- 1 x ローカルコンピュータとリモートコンピュータそれぞれに一体型KVMケーブル StarTech.comからさらに長いケーブルが販売されています。部品番号: SVECONx (PS/2)、SVECONUSx (USB)
- 2x シールド無しカテゴリ5/5e/6ツイストペア (UTP) ストレートスルー ネットワークケーブル - 両端にRJ-45コネクタ端子付き (表面配線の場合)

または

- シールド無しカテゴリ5/5e/6ツイストペア (UTP) ストレートスルー ネットワークケーブル - 両端に2つの壁面取り付けコンセント付き、ローカルとリモートに2つの標準カテゴリ5/5e/6パッチケーブル (構内配線を使用している場合)

注意: ローカル機とリモート機間のケーブル長はパッチケーブルを含めて(使用している場合) 200 mを超えることはできません。同時に接続する場合は、ブランドと長さが同じCat5ケーブルを使用することを推奨します。カテゴリ5eおよび6のケーブルは本製品と互換性があり、優れた性能を発揮します。

注意: ローカル機とリモート機間のケーブル長が長いと、高解像度やリフレッシュレートで画質に悪影響を与えることがあります。高解像度と高周波数でリモートディスプレイを動作させる必要がある場合は、可能な限り地点間の配線を少なくし、使用しないケーブルを天井に巻き付けるなどの配線は避けてください。

注意: 本製品はKVMスイッチも制御可能ですので、複数のコンピュータをリモートで管理することができます。この構成では、KVMエクステンダローカル機をKVMの「コンソール」ポートに接続できます。この構成を使用する場合は、付属の電源アダプタを使用する必要があります。ホットキーシーケンスとして[Ctrl]キーを使用するKVMに接続する前に、ローカル機を互換モードに設定する必要があります。詳細は、(ホットキーコマンド) ページ8を参照してください。

パッケージの内容

- 1x ローカル機
- 1x リモート機
- 2x 1.5 m 2-in-1 USB VGA KVMケーブル
- 2x ゴム足付き
- 1x 電源アダプタ
- 1x ユーザマニュアル

KVMエクステンダを接続する

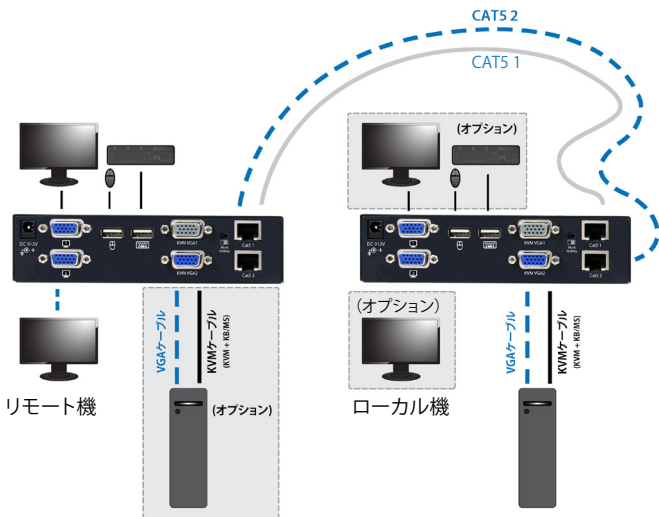
設置場所の準備をする

製品をインストールする前に、設置場所の準備をする必要があります。

1. ローカルコンピューターの設置場所を決め、コンピューターをセットアップします。
2. コンソールデバイス(マウス、キーボード、モニタ)の設置場所を決め、適切な場所に設置します。
3. a) 表面配線を行う場合、十分なCat 5シールド無しツイストペア (UTP) ネットワーク配線により、ローカル機から2本のケーブルでリモート機のある場所まで接続し、各端部がRJ-45コネクタで端子処理されていることを確認してください。

または

- b) 構内配線を行う場合、ローカル機とリモート機間のCat 5シールド無しツイストペア (UTP) ネットワーク配線が適切にそれぞれの場所の壁コンセントで端子処理されており、リモート機とローカル機をそれぞれのコンセントに接続するためのパッチケーブルの長さが十分あることを確認してください。



インストール手順

ローカル機のインストール

1. ローカル機をコンピューターの近くに置きます。
2. コンピュータの電源を切り、接続されているデバイスを外します。
3. 付属のStarTech.com一体型KVMケーブルを使用して、USBまたはPS/2 + VGAコネクタが付いているケーブルの端をVGA出力コネクタとUSB、または必要に応じてコンピューターのマウスとキーボード用のPS/2コネクタに接続します。(PS/2バージョンのケーブルは色分けされています。)シングルコネクタの付いたケーブルの反対側を、KVMエクステンダのローカル機のCOMPUTERとマークされたグレー色のコネクタに接続します。
4. ビデオ用ケーブルでローカル機のコンピューター側のビデオポートと接続したコンピューターのビデオ出力ポートを接続します。
5. ビデオ用ケーブルでローカル機のコンソール側のビデオポートと接続したモニターのビデオ入力ポートを接続します。
6. リモート機とローカル機の各RJ45ポート (Cat5 1 & Cat5 2) 間の接続にはCAT5ケーブルを使用してください。
7. ローカルコンピューターへコンソールからアクセスしたい場合は、USBマウス、キーボード、およびVGAモニターを、ローカル機のCONSOLEとマークされたインジケータに接続します。
8. リモート機のUTPケーブル接続をローカル機のNETWORK RJ-45コネクタに接続します。反対側を終端処理されたコンセントに接続します (構内配線を使用している場合)。

リモート機のインストール

1. ローカル機をコンピューターの近くに設置します。
2. コンピュータの電源を切り、使用しているVGAケーブルと入力接続を外します。
3. StarTech.com一体型KVMケーブルを使用して、USBまたはPS/2 + VGAコネクタが付いているケーブルの端をVGA出力コネクタとUSB、または必要に応じてコンピューターのマウスとキーボード用のPS/2コネクタに接続します。(PS/2バージョンのケーブルは色分けされています。)シングルコネクタの付いたケーブルの反対側を、KVMエクステンダのリモート機のCOMPUTERとマークされたグレー色のコネクタに接続します。
4. ビデオ用ケーブルでローカル機のコンピューター側のビデオポートと接続したコンピューターのビデオ出力ポートを接続します。

5. ビデオ用ケーブルでローカル機のコンソール側のビデオポートと接続したモニタのビデオ入力ポートを接続します。
6. リモート機とローカル機の名RJ45ポート (Cat5 1 & Cat5 2) 間の接続にはCAT5ケーブルを使用してください。
7. USBマウス、キーボード、およびVGAモニタを、リモート機のCONSOLEとマークされたインジケータに接続します。
8. リモート機のUTPケーブル接続をリモート機のNETWORK RJ-45コネクタに接続します。反対側を終端処理されたコンセントに接続します (構内配線を使用している場合)。

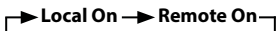
注意: ローカル機とリモート機を接続するUTPネットワークケーブルには電流が流れているため、別のデバイスに差し込まないようにしてください。これらのデバイスがダメージを受ける恐れがあります。お使いのケーブルには、リモート側にもローカル側にも本製品の名前を書き込み、識別しやすいようにしておくことを強くお勧めしています。

プッシュボタン制御とLED

ローカル機とリモート機それぞれの上部パネルにあるプッシュボタンで、制御モードを選択することができます。

リモート機のプッシュボタン

リモート機の上部パネルにあるボタンで、次の図のように順番にLocal (ローカル) と Remote (リモート) の間でモードを切り替えることができます。



Local On: LED [Local] が点灯すると、システムはローカルコンピューターを制御します。

Remote On: LED [Remote] が点灯すると、システムはローカル機をリモートから制御します。

ローカル機のプッシュボタン

ローカル機の上部パネルにあるボタンで、次の図のように順番にLocal (ローカル)、Remote (リモート) およびAuto (自動) の間でモードを切り替えることができます。



Auto: LED [Remote] と [Local] が交互に点滅し、システムはリモート機またはローカル機が制御を開始するのを待っています。制御の優先順位は先着順です。

例えば、ローカル機に接続されたキーボードまたはマウスがアクティブになると、LED [Local] が点灯し、LED [Remote] が消灯します。このステータスは、現在ローカル機がシステムを制御していることを示しています。リモート機の場合も同様です。Autoモードでは、制御を行うためのラッチ時間の長さを、ホットキーを使用して5秒、15秒、30秒、または60秒にプリセットすることができます。これにより、ローカル機またはリモート機はキー操作またはマウス操作によって制御を再開できます。ステータスは[Auto]モードに戻ります。

[Auto]モードでは、キーボード、マウスボタン、またはマウススクロールホイールからのアクティビティが検出されると、ローカル機またはリモート機が直ちにシステムを制御します。

Local On: LED [Local] が点灯し、接続されたPC (またはKVMスイッチ) はローカル機によって制御されます。この場合、リモート機に接続されているキーボードの3つのLED (Num、Caps、Scroll Lock) が点滅します。

Remote On: LED [Remote] が点灯し、リモート機からシステムをリモート制御できます。

ビデオ補正

ビデオ補正機能を使用すると、リモート機のコンソールからイコライゼーションを調整して、使用されているケーブルの長さやディスプレイに影響するその他の要因に基づいてビデオ性能を最適化することができます。調整できるのは、イコライザ（鮮明度）、ゲイン（輝度）とスキュー（RGB）です。CAT 5 / CAT 5e / CAT 6ケーブルのさまざまな長さを補正するために、粗調では16レベル、微調整では最大128/256スケールまでイコライザとゲインの調整に使用できます。また、粗調には8つのレベル、微調整には16/32のスケールがあり、赤、緑、青のスキュー調整に使用できます。ビデオ補正設定の適用方法の詳細については、後述の「リモート機のホットキーコマンド」セクションを参照してください。

注意：

1. ビデオ調整はリモート機で「のみ」可能です。
2. ビデオ調整は、CATxケーブルが接続され、リモート機が制御している場合にのみ適用されます。
3. ビデオ調整のアイドルタイムアウトは30秒です。つまり、30秒以内にキーボードのアクティビティが検出されなければ、自動的にビデオ調整ステータスが解除されます。

ホットキーまたはプッシュボタンのいずれかを使用して、リモート機のビデオ調整を有効にすることができます。リモート機は、マスクホットキーがOFF（オフ）であるかON（オン）であるかにかかわらず、ホットキー制御が可能です。ビデオ調整モードが有効になると、リモート機に接続されたキーボードのNumeric Lock LEDとScroll Lock LEDがそれぞれ点滅します。次に、下の表に従ってホットキーコマンドによるビデオ調整を実行します。

ビデオ調整ステータスを終了するには、次の3つの方法があります。

1. 30秒間キーボードのアクティビティが検出されない場合
2. リモート機に接続されているキーボードのEscキーを1回押す
3. リモート機の上部パネルにあるプッシュボタンを1回押す

ホットキーコマンド

ホットキーコマンドとは、コンピュータの選択、コンピュータスキャンの有効化などができる短いキーシーケンスのことです。KVMエクステンダは常にホットキーのキーストロークを読み取っています。正常にホットキーコマンドが操作される度に高音ビープ音が鳴ります。コマンドに誤りがある場合は短く1回、長く1回鳴ります。この場合は、キーコマンドはエクステンダ機または選択したコンピュータに送信されません。

カスケードアーキテクチャ

KVMエクステンダはKVMスイッチのコンソールポートに接続できますが、ホットキーコマンドによる衝突を防ぐため、互換モードのリーディングコードの先頭にホットキーコマンドを付加することで、KVMエクステンダに直接アクセスすることができます。

マスクホットキースイッチ

KVMスイッチのホットキーコマンドはモデルによって異なります。そのため、ホットキーエラーが発生し、エクステンダ機と相互に接続された混合タイプのKVMスイッチ間の不要な設定が発生する可能性があります。マスクホットキーを使用するとカスケードアーキテクチャ内のホットキー制御が非常に簡単になります。

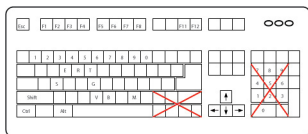
カスケード アーキ テクチャ	マスク ホットキー スイッチ	ホットキーコマンド
NO	OFF	標準モード(工場出荷時の初期設定)ホットキーコマンドは、リーディングコード[左Ctrl + 左Ctrl]で始まり、さらに1回または2回のキーストロークが続きます。ホットキーコマンドで対象となるのはキーボードの左下隅にあるCtrlキーのみです。
YES	OFF	互換モード。ユーザはカスケードリーディングコード[左Ctrl + 左Ctrl + E]を先頭とするKVMエクステンダの内蔵ホットキーコマンドを適用することで、KVMスイッチに接続したコンピューターを設定することができます。
YES / NO	ON	KVMエクステンダがKVMスイッチに接続しているかどうかを表すステータス。ユーザは、KVMスイッチの内蔵ホットキーコマンドを適用するか、ボタンを2秒押し下げた後1回または2回以上のキーストロークでKVMエクステンダの代替ホットキーコマンドを使用することができます。これ以降の説明では、この動作を「[BTN] (2秒)」として簡略化して表記します。

注意:ホットキーコマンドは以下の場合に自動的にタイムアウトします。

- リーディングコード入力(マスクホットキーOFF時)から3秒以内または[BTN] (2秒間)後(マスクホットキーON時)から6秒以内にキーボードのアクティビティが検出されなかった場合。
- ホットキーモードを終了するには、Escキーを1回押します。
- Escキーを1回押してホットキーモードを終了し、ローカルモードまたはリモートモードに切り替えます。

ホットキーコマンドを入力する前に、状況に応じてリーディングコード(上の表を参照)を入力してから、次の図に示すように1回または2回以上のキーストロークが必要です。

注意:ホットキーは、最上段の番号キーと左Ctrlキー、左Altキー、左Shiftキーのみを使用して入力する必要があります



リモート機とローカル機両方のホットキーコマンド

ホットキーコマンドを入力する前に、カスケードアーキテクチャに応じてリーディングコード ([Ctrl] + [Ctrl] または [Ctrl] + [Ctrl] + [E]) を入力する必要があります。

ホットキーコマンド		機能の説明
キーボード	プッシュボタン	
[Alt] + [E]	該当なし	<p>カスケードステータス選択</p> <p>* [ローカル機とリモート機]</p> <p>ビープ音1回: 標準モード有効化</p> <p>* [リモート機]</p> <p>ビープ音2回: 互換モードが有効になり、ローカル機に接続されたKVMスイッチにアクセスしているリモート機のユーザが有効になります。</p> <p>* [ローカル機]</p> <p>ビープ音2回: 互換モードが有効になり、ローカル機に接続されたKVMスイッチにアクセスしているローカル機のユーザを有効になります。</p>
[Alt] + [S]	該当なし	製品を工場出荷時の初期設定にリセットする
[Esc]	該当なし	ホットキーモード終了
[T]	該当なし	<p>連続モード選択</p> <p>ローカルコンピュータとリモートコンピュータ間のコンソール制御を切り替えます。</p>
[1]	該当なし	<p>ローカルモード選択</p> <p>* [リモート機]</p> <p>リモート機に接続されたコンピュータ (KVMスイッチ) にアクセスしているリモート機ユーザが有効になります。</p> <p>* [ローカル機]</p> <p>ローカル機に接続されたPC (KVMスイッチ) にアクセスしているローカル機ユーザが有効になります。リモート機のユーザアクセスを無効にします。</p>

ホットキーコマンド

機能の説明

キーボード プッシュボタン

[2] 該当なし

リモートモード選択

ローカル機に接続されているコンピュータ (KVMスイッチ) 排他的にアクセスしているリモート機ユーザーを有効化します。(ローカル機がリモートモードまたは自動モードにある場合のみ) このモード中にローカル機にアクセスしているローカル機ユーザーを無効化します。

[F12]

マウス再同期 (PS/2 PC用)

[V] - 4桁

(1番目と2番目の両方のモニタ)

EDID設定 (EDIDエミュレーション)

ビデオ解像度の設定が接続されているディスプレイの性能を超えないようにします (CPUの再起動が必要です)。次のビデオ解像度オプションを選択できます:

[V] - [M] - 4桁

(1番目のモニタ用)

解像度1024 x 0768用に4桁の数字:1007を入力します。

解像度1280 x 1024には1210

解像度1600 x 1200には1612

解像度1920 x 1200には1912

解像度1920 x 1440には1914

解像度2048 x 1152には2011

[V] - [S] - 4桁

(2番目のモニタ用)

注意: デフォルトでは、リモート機とローカル機間のEDID設定 (EDIDエミュレーション) 設定は、リブート後のリモート機の設定に従います。次のビデオ解像度オプションを選択できます:

4桁	解像度	4桁	解像度
10 07	1024 x 768	16 12	1600 x 1200
12 08	1280 x 800	16 10	1680 x 1050
12 10	1280 x 1024	19 10	1920 x 1080
13 07	1360 x 768	19 12	1920 x 1200
14 09	1440 x 900	19 14	1920 x 1440
14 10	1440 x 1050	20 11	2048 x 1152
16 09	1600 x 900		

ローカル機のホットキーコマンド

ホットキーコマンド		機能の説明
キーボード	プッシュボタン	
[3]	該当なし	自動モード選択
[F3]		ラッチタイム選択 自動モードラッチタイム設定エクステンダは1～4回のビーブ音を鳴らしてラッチタイムの長さを知らせます。それぞれ5秒、15秒、30秒、60秒。
[F6]		プライバシー設定有効化 ローカル機のビデオ信号停止を有効化

プライバシー設定有効化:

最初にローカル機のLEDをチェックして、現在のモード（ローカルモードまたは自動モード）を確認してください。ホットキーコマンドを繰り返してプライバシー設定（[リーディングコード] + F6）を行うと、KVMエクステンダは以下のように1～3回のビーブ音を鳴らしてローカル機のステータスを知らせます。

A. ローカルモードのローカル機（リモートLED: Off、ローカルLED: On）

- ・ ビーブ音1回: ローカル機のビデオ信号出力を有効化。
- ・ ビーブ音2回または3回: ローカル機のビデオ信号出力を無効化。

B. 自動モードのローカル機（リモート/ローカルLEDが交互に点滅します）

- ・ ビーブ音1回: ローカル機のビデオ信号出力を有効化。
- ・ ビーブ音2回: キーボード/マウスをトリガすることにより、ローカル機の出力ビデオ信号を一時的に無効にすることができます。（ローカル機ユーザは5秒、15秒、30秒、60秒間プライバシーを保護します。詳細については上記の表: ラッチタイムの選択を参照してください）
- ・ ビーブ音3回: キーボード/マウスをトリガすることにより、リモート機ユーザまたはローカル機ユーザは他の機の出力ビデオ信号を一時的に無効化することができます。（ユーザは5秒、15秒、30秒、60秒間プライバシーを保護することもできます）

リモート機のホットキーコマンド

ビデオ調整機能はリモート機でのみ可能です。ホットキーコマンドを起動するには、状況に応じて特定のリーディングコードから開始し、**F11**を押してビデオ調整モードに入ります。調整後、このモードを終了するには**Esc**を押してください。

ホットキーコマンド		機能の説明
キーボード	プッシュボタン	
[E]		ビデオ調整 イコライザ/ゲイン調整
		イコライザ (鮮明度) : (Num Lock LED + Caps Lock LED) 点滅 1.1 番号目と2番号目の両方のモニタ 1.1 ← または → を押して粗調整:調整は16レベル 1.2 Shift + ← または → を押し下げて微調整 2.1 番号目のモニタ (Num Lock LED + Caps Lock LED) 点滅 2.1 F1またはF2を押して粗調整:調整は16レベル 2.2 Shift + F1またはF2を押し下げて微調整。 3.2 番号目のモニタ (Num Lock LED + Caps Lock LED) 点滅 3.1 F5またはF6を押して粗調整:調整は16レベル 3.2 Shift + F5またはF6を押し下げて微調整。
		ゲイン (輝度) : (Caps Lock LED + Scroll Lock LED) 点滅 1.1 番号目と2番号目の両方のモニタ 1.1 ↑ または ↓ を押して粗調整:調整は16レベル 1.2 Shift + ↑ または ↓ を押し下げて微調整 2.1 番号目のモニタ (Num Lock LED + Caps Lock LED) 点滅 2.1 F3またはF4を押して粗調整:調整は16レベル 2.2 Shift ↑ または ↓ を押し下げて微調整。 3.2 番号目のモニタ (Num Lock LED + Caps Lock LED) 点滅 3.1 F7またはF8を押して粗調整:調整は16レベル 3.2 Shift + F7またはF8を押し下げて微調整。

ホットキーコマンド		機能の説明
キーボード	プッシュボタン	
[B] (青) [G] (緑) [R] (赤) *調整のために一度に1つの色 を選択してください		青色/緑色/赤色調整 Caps Lock LED点滅 1.1 1番目と2番目の両方のモニタ 1.1 ◀または ▶ を押して粗調整:調整は8レベル 1.2 Shift + ◀または ▶ を押し下げて微調整 2.1 1番目のモニタ 2.1 F1またはF2を押して粗調整:調整は8レベル 2.2 Shift + F1またはF2を押し下げて微調整。 3.2 2番目のモニタ 3.1 F5またはF6を押して粗調整:調整は8レベル 3.2 Shift + F5またはF6を押し下げて微調整。
[Esc]		ビデオ調整モードの終了

ビーブコード

リモート機に発行するキーボードコマンドシーケンスには複数の設定が可能です。本機は発行したコマンドに対して選択した設定を知らせるビーブ音を鳴らします。(短いビーブ音とそれに続く長いビーブ音はコマンドが無効であることを知らせています。)

[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E] (互換モード選択)

ビーブ音1回:無効化(工場出荷時の初期設定)

ビーブ音2回:有効化

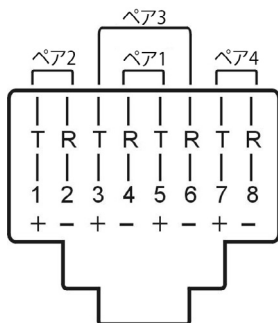
注意:[キー] - [キー]形式で記述されたコマンドは、キーをキーボードで順番に押していきます。[キー] + [キー]形式で記述されたコマンドは同時に押します。

注意:NumLock、CapsLock、およびScrollLockのライトがキーボードで一斉に点滅している場合、他の機がコンピュータAを制御します。他の機がコンピュータAへのアクセスを解除するまで、コンピュータAを使用することはできません。

技術仕様

最大解像度	最大UTPケーブル長で1920 x 1200
最大距離	200メートル
ネットワーク配線タイプ	ストレートスルーシールド無しツイストペア (UTP) Cat 5
コネクタ	ローカル機およびリモート機にそれぞれ 4 x HD-15メス (2 x KVM、2 x コンソールVGA) 2 x RJ-45 2 x USBキーボード/マウス (コンソール用) 1 x 電源 (オプション)
電源アダプタ	9V DC、600mA、センターポジティブ (各機) (オプション。従来のKVMスイッチを使用して接続した場合のみ必要)

RJ-45コネクタピン配列



ピン	配線の色	ペア	機能
1	白/オレンジ	2	T
2	オレンジ	2	R
3	白/緑	3	T
4	青	1	R
5	白/青	1	T
6	緑	3	R
7	白/茶	4	T
8	茶	4	R

トラブルシューティング

インストール時または操作中にKVMエクステンダに問題が発生した場合は、このセクションで解決策を探してください。問題がここに記載されておらず、問題を解決できない場合は最寄りの代理店にお問い合わせください。

症状	解決策
ビデオ信号が出力されない	<ul style="list-style-type: none">•ハードウェア要件のセクションに従って、すべてのケーブルが認定品であることを確認します。•すべてのケーブルがポートに正しく接続され、しっかりと固定されていることを確認します。•コンソールとコンピュータの間は、別のCATxケーブルを使用して接続してください。•同時に接続する場合、ブランドと長さが同じCATxケーブルを使用してください。•各機の各RJ45ポート (Cat5 1~Cat5 1 / Cat5 2~Cat5 2) 間の接続にはCATxケーブルを使用してください。•コンピュータの電源を切ります。モニタをコンピュータに直接接続し、再度電源を入れます。モニタがコンピュータで正しく動作しない場合は、別のモニタを試してみてください。
表示解像度が低い	<ul style="list-style-type: none">•KVMエクステンダの接続にはEIA / TIA 568B業界標準のCATxケーブルを使用してください。•エクステンダからCATxケーブルのプラグを抜いて、再度差し込みます。•使用しているCATxの長さに応じてビデオ品質調整を実行します。
リモート機の2台のモニタ (1台目と2台目) で、調整後のビデオ品質を同時に表示できない	<ul style="list-style-type: none">•最初に1台目のモニタ (F1~F4を使用) を調整し、次に2番目のモニタを調整します (F5~F8を使用)。詳細については「ビデオ調整」セクションを参照してください。

症状	解決策
<p>キーボードのホットキーが、KVMエクステンダがKVMスイッチに接続されると動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 互換モードホットキーコマンドを適用します。 エクステンダに十分な電力が供給されているか確認します。
<p>コンピュータ機が動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ機に十分な電力が供給されているか確認します。電力供給が不十分な場合は、お近くの販売店から電源アダプタを購入してください。
<p>上記の解決策を試した後も問題が引き続き発生する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各デバイスを一旦取り外した後、再度取り付けます。コネクタやソケットに曲がったピンなどの損傷がないか確認します。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は www.startech.com/downloads でご確認ください

保証に関する情報

本製品は3年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は www.startech.com までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。